

安曇野市制20周年記念 安曇野環境フェア2025プレイベント

ココリコ 田中直樹さんと学ぼう！あづみ野の生きものたち



安曇野環境フェアのプレイベントとして、地域の専門家による講演やテレビで活躍するココリコ・田中さんをゲストに迎えてトークイベントを行います。安曇野に住む生き物にスポットを当てて楽しく学びます。 問環境課 Tel.71-2492

日時 9月14日(日) 13:30~15:30

場所 豊科公民館ホール **定員** 650人(抽選)

費用 無料

申し込み 8月4日(月)から18日(月)にながの電子申請サービス(右記2次元コード)で。利用できない場合は電話で



ゲスト
講師



田中 直樹さん

■プロフィール
お笑いコンビ・ココリコとしてバラエティ番組など他分野で活躍。芸能界屈指の動物好きとして知られている。



那須野 雅好さん

■プロフィール
三郷昆虫クラブ世話人。市生物多様性アドバイザー。長年にわたり子どもたちに自然の面白さを伝え続けている。

新連載 戦後80年 安曇野と戦争の記憶

今号から戦後80年の節目に合わせて安曇野に残る戦争の記憶を3回にわたって紹介します。

記憶1 生きて証を残し出撃した特攻隊員

安曇野出身の特攻隊員・浅川又之さんは「笑って征きます」と遺書に記した後、出撃しました。

1922年、養蚕農家の6人きょうだいの末っ子として堀金村に生まれた又之さん。いつも笑顔で優しく周囲から慕われる存在でした。東京高等蚕糸専門学校進学のため上京しますが、在学中に太平洋戦争が勃発。繰り上げで卒業し20歳で陸軍に入隊します。パイロット不足になり、入隊から1年で重機関銃中隊から航空へ転科した又之さんは訓練に励みわずか5カ月で単独飛行ができるようになりました。その後、又之さんは仲間と特攻隊に志願。厳しい戦局の中、隊員たちは志願せざる得ない状況に追い込まれていました。沖縄戦が激しくなった志願から半年後の1945年4月6日、又之さんは知覧基地から出撃し、沖縄の海上でアメリカ艦隊へ突入。

23歳の若さでした。特攻隊に志願した後、又之さんは出撃命令に備えて自分の日記や写真、遺書を家族に送っています。そこには、劣化させずに保存してほしいと最後の願いが記されていました。その願い通り、又之さんの生きて証は遺族によって今も大切に保存されています。

参考：特攻第四十三振武隊 永遠の又之叔父



1945年3月21日撮影

info 知覧特攻平和会館出張講話を開催します

8月2日(土) 13:30~15:30
豊科公民館ホール 無料
不要(当日先着順) 総務課 Tel.71-2408

競技操法から技術習得へ 市消防団消火技術訓練会を初開催



耐火服を着て放水する消防団員(お披露目部門)

市消防団消火技術訓練会が6月8日に市防災広場で行われました。この大会は、年々消防ポンプ操法大会に出場する分団が少なくなったことを受け、その代替訓練として初めて開催されました。開催にあたっては、消防ポンプ操法大会の継続を含めたアンケートを昨年10月に全消防団員へ実施。消防機器の取扱技術や安全・確実・迅速に放水する技術の習得・向上を前提に、寄せられたさまざまな意見を踏まえ協議して

きました。その結果、火災現場を想定した消火技術のお披露目部門と消防ポンプ操法上位大会へ出場する部門の2部制での開催が決定しました。当日はお披露目の部門に9チーム、上位大会出場の部門(小型ポンプ操法)に2チームが出場しました。高橋穂团长は「他分団の消火方法を見る機会となり、お互い参考になる点があったと思う。今後も団員の意見を踏まえ、よりよい方法を考えていきたい」と力を込めました。

● 未来の移住先へ あづみっこ体験入園の児童受け入れ

安曇野市へ移住を検討している3歳以上の未就学児がいる家族を対象に、6月から明科北認定こども園ではあづみの自然保育体験入園を開始しています。この取り組みは、園周辺の自然環境や住民との交流など地域の魅力を生かした日々の保育を身近に感じてもらう、将来の移住につなげることを目的としています。

園児と一緒にプール遊びや、お散歩コースの途中にある関智さん(明科東川手)の畑で野菜の収穫体験を楽しみました。本村さん家族は現在仕事の都合で各地を転々としています。子どもが小学校に入学するタイミングで定住を考えています。きょうだいに付き添った祖母の林孝子さん(63・穂高柏原)は「孫たちも自然で遊ぶのが大好き。ぜひ定住先を安曇野に決めてほしい」と期待を込めていました。



収穫したピーズを掲げる一悠くん(右)と心暖ちゃん(中央)

豊かな森を次世代に 松本地区植樹祭

室山山頂の広場で6月24日、本年度で37回目となる松本地区植樹祭(県松本地域振興局・市など共催)が開かれました。この植樹祭は、緑豊かな森林を健全な姿で次世代に引き継ぎ、森林づくりを支える機運を高めるため松本地域8市村の持ち回りで毎年開催されています。

この日は林業関係者や三郷小学校の児童ら200人が参加。式典後には、参加者が汗をぬぐいながら室山

頂上付近の約1000平方メートルにクヌギやヤマザクラなどに382本を植えました。

開催市としてあいさつをした太田市長は「豊かな森林が次世代に受け継がれることを願っている」と述べました。

